

第三回斐伊川流域の水辺を考える懇談会 資料

- 穴道湖の保全・整備に関するマスタープラン
- 穴道湖・大橋川周辺の現況

[目次]

1 . 穴道湖の保全・整備に関するマスタープラン	P 1
2 . 平成 4 年以降の変遷	P 1 0
3 . 穴道湖景観形成地域	P 1 1
4 . 整備箇所	P 1 3
5 . 温泉、観光地	P 1 6
6 . 主な景観地	P 1 8
7 . 観光客の移動に配慮した景観整備	P 2 1
8 . 文化財、神社、寺社、公共施設、公園緑地	P 2 4
9 . 鳥類、魚類、水生植物	P 2 7
1 0 . ラムサール	P 3 6

宍道湖の保全・整備に 関するマスタープラン

太陽が

没し始めるにつれて

水に空に

色どりの不思議な

変化が現われる……

小泉八雲

「知られざる日本の面影」

聖なる湖、宍道湖

文人達に愛され、人々の暮らしと

ともに育まれた「くにびき」の湖…



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

島根県出雲市塩冶町5丁目1番地
☎ (0853) 21-1850

はじめに

矢道湖は、シジミ漁などの漁業活動、釣りなどの親水レクリエーション活動等に見られる多面的な水辺・水面利用、嫁ヶ島と夕陽が織り成す優れた景観、さらには数多くの野鳥が生息し、ヨシ原などの河岸植生が分布する良好な自然環境を有している湖です。

また、人々の生活に深く係わりのある湖となっています。

このように人々の暮らしとともに育まれてきた湖「矢道湖」を保全・整備し、後世にまで伝えていくために建設省では「矢道湖の保全・整備に関するマスタープラン」を策定しました。

マスタープランの内容

このマスタープランは、「斐伊川水系河川環境管理基本計画」の考え方を基に、矢道湖の優れた特性を活かしていくために建設省が中心となって学識者などの代表者から構成される委員会の意見を踏まえつつ、「水辺・水面利用」、「景観」、「自然環境」の観点から、検討されました。

その内容は、以下の項目で構成されています。

1. テーマ
2. 基本方針
3. ゾーン別保全・整備のマスタープラン
4. マスタープランの展開に向けての施策



テーマ

矢道湖の良好な環境の保全・創出を目指して、マスタープランのテーマを次のように決めました。

矢道湖の秩序ある多面的利用の促進〈水辺・水面利用〉

矢道湖の多面的な魅力を高め、矢道湖にふさわしい秩序ある水辺・水面利用を図ります。



矢道湖は、漁業活動や釣りなどの親水レクリエーションの場として利用されています。

矢道湖らしい景観の保全・創出〈景観〉

古くから聖なる湖として多くの人々に愛されてきた矢道湖の素晴らしい景観の保全・創出を図ります。

静かに光る水面、緑ヶ島と夕陽が織り成す情景など静寂な景観を創出しています。



矢道湖の自然豊かな環境の保全・創出〈自然環境〉

矢道湖に残されている豊かな自然や生物の生息環境の保全・創出を図ります。



野鳥の楽園。ヨシ原に見られる河岸植生など動植物の生息に良好な自然環境を有しています。

文人達に愛された湖

矢道湖は、次のような文人達に愛され、書に謳われている湖です。

・小 泉 八 雲	神国の首都「知られぬ日本の面影」
・石 川 淳	小林如泥「諸国先崎人伝」
・徳 富 康 花	松江「死の蔭に」
・田 山 花 袋	「山水小記」
・島 崎 藤 村	「山陰土産」
・野 口 雨 情	「民謡旅行」
・立 原 道 造	「長崎ノート」
・田畑修一郎	松江の町「出雲・石見」
・阿 部 知 二	矢道湖のほとり
・五 木 寛 之	松江「故郷に女ありて」
・駒 田 信 二	湖と私 ―松江大橋から見た矢道湖―
・渡 辺 淳 一	矢道湖「みずうみ紀行」
田畑修一郎	など

基本方針

矢道湖の保全・整備については、このマスタープランの主旨にそって国、県、市町、住民が一体となって推進していくために次のような基本方針を定めました。

〔秩序ある水辺・水面利用の確立〕

矢道湖の秩序ある水辺・水面利用を確立するための施策を推進していきます。

〔親水性、自然環境、景観に配慮した湖岸堤等の整備〕

素材や彩状、色彩への配慮及び湖岸堤周辺の状況（利用状況、自然性、景観）に配慮した整備を積極的に行っていきます。

〔水辺のネットワークの創造〕

歴史・文化施設、公園緑地等を有機的に連携し、良好な河川空間、多様な水辺に親しめる散策空間の整備を図っていきます。

〔河川空間の美化〕

矢道湖の良好な河川環境を維持していくために、湖岸沿や湖面の美化に努めていきます。

〔景観形成に配慮した修景及び緑化の推進〕

背後景観と湖岸景観が一体となったうおいとやすらぎのある景観形成を促進していきます。

〔水辺へのアプローチ、河川空間と連続した親水空間の確保〕

街並みから水辺へと続く散策路の充実や眺望・展望施設の確保等に努めていきます。

〔良好な自然環境の保全・創出〕

矢道湖周辺の良好な自然環境の保全・創出に努めていきます。

矢道湖の生きものたち

矢道湖にはたくさんの生きものが生息しています。

●魚類



アマスギ(ワカサギ)



サマトンジ

●鳥類



キンクロハジロ

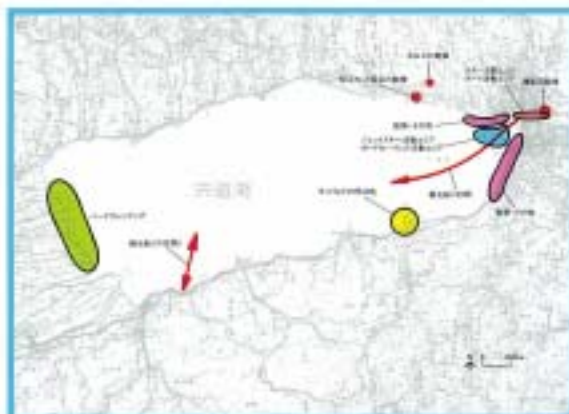
●植物



ミスアオイ

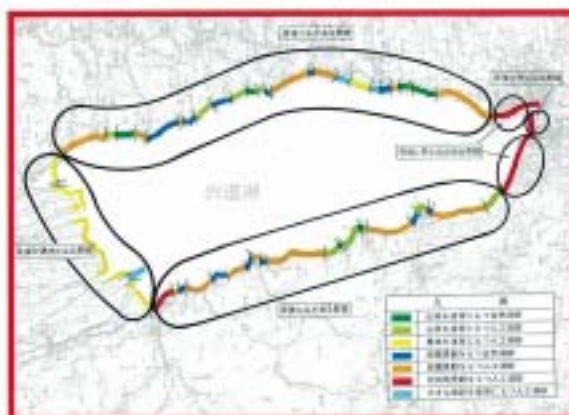
矢道湖の今日

矢道湖は、水辺・水面利用、景観、自然環境からみると次のような特徴を有しています。



〈水辺・水面利用〉

「バードウォッチング、カヌー、ボート、散策など多様な利用がされている湖です。」



〈景観〉

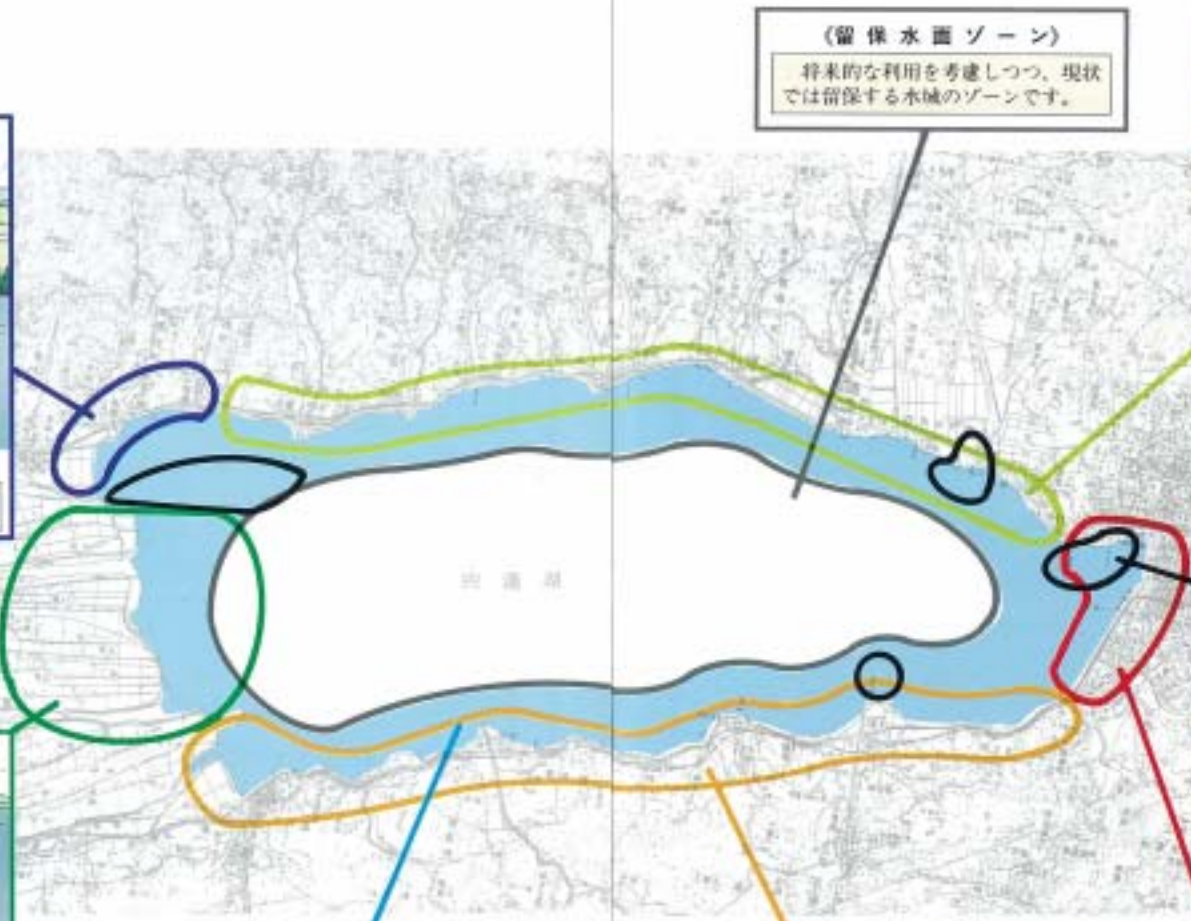
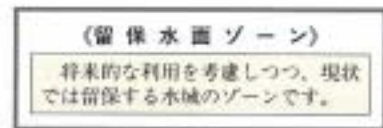
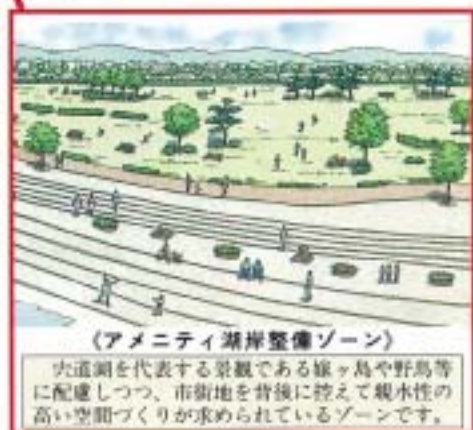
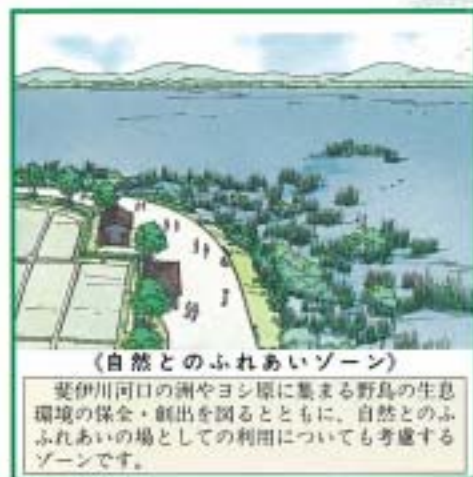
「矢道湖周辺の景観は、大きく4つに分けられ、細かくは7つの景観に分類できる湖です。」



〈自然環境〉

「白鳥やナゴヤサナエに見られる食虫種など多様な動植物が生息できる豊かな自然環境を有している湖です。」

大田湖の良好な河川空間を目指して



水辺・水面利用（H4当時）



景 観 （H4当時）



背後に山がある景観

背後が町となる景観

背後に町と山がある景観

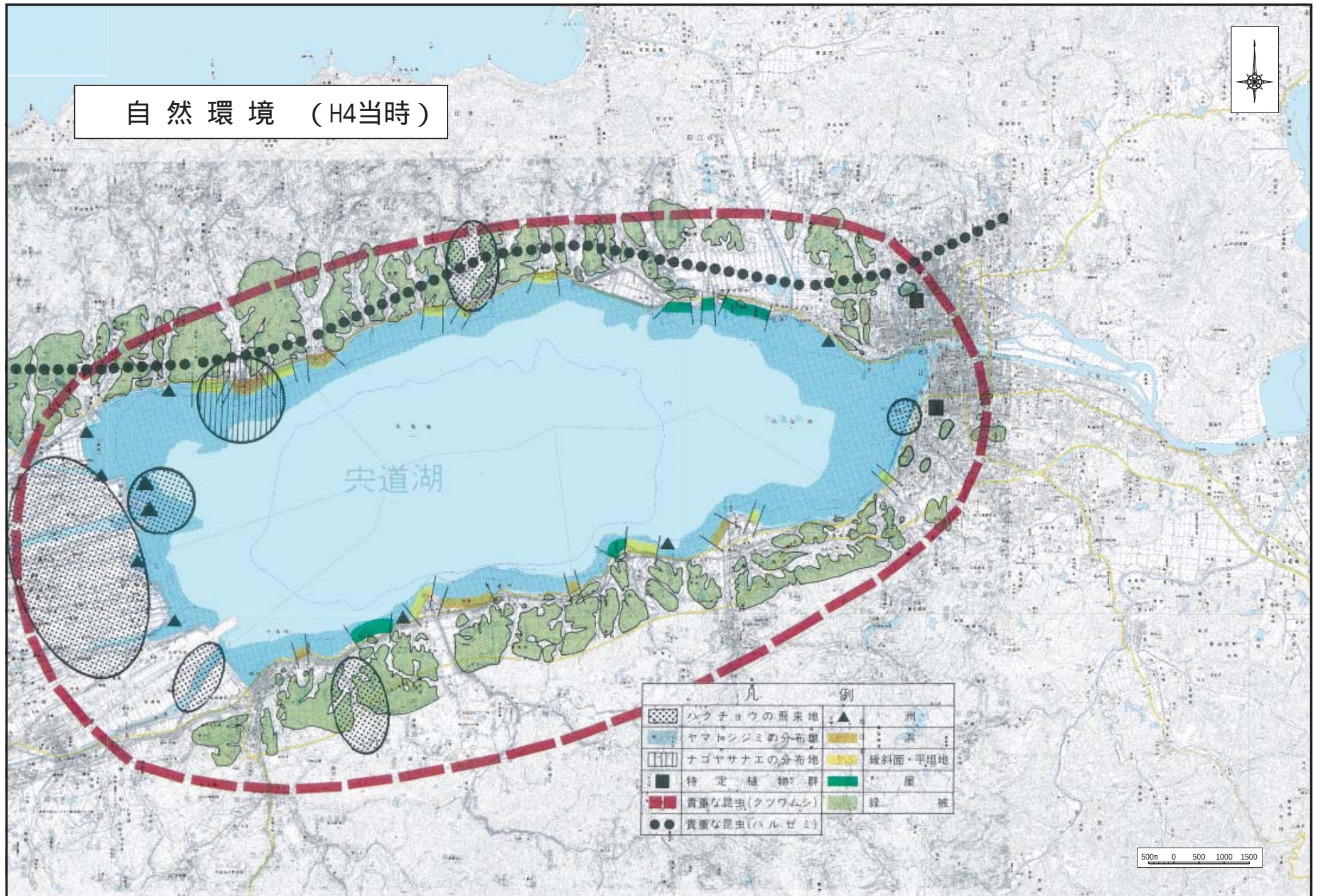
背後が農地となる景観

背後に山がある景観

凡 例	
	山林を後背にもつ自然湖岸
	山林を後背にもつ人工湖岸
	農地を後背にもつ人工湖岸
	田園景観をもつ自然湖岸
	田園景観をもつ人工湖岸
	市街地景観をもつ人工湖岸
	大きな施設を後背にもつ人工湖岸
	ハクチョウの飛来地
	ナゴヤサナエの分布地

500m 0 500 1000 1500

自然環境（H4当時）



矢道湖の保全整備に関するマスタープラン（平成4年10月）



（水生植物保護ゾーン）



（沿岸ふもと環境整備ゾーン）



（海上活動ゾーン）



（アメニティ開発整備ゾーン）



（沿岸ふもと環境整備ゾーン）

0 500 1000 1500
m